

新年のごあいさつ

福井商工会議所
会頭 八木 誠一郎



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、ご健勝のう
ちに新春をお迎えになられたことを心よ
りお慶び申し上げます。本年もよろしく
お願い申し上げます。

さて、3月16日の北陸新幹線県内開業
を受け、昨秋実施された新幹線車両の初
入線記念セレモニーでは、待ちに待った
沢山の県民が感激し、また福井駅周辺
まちづくりや観光スポットの新設・改装
等の変化が目に見える形で進む中、日
日にワクワク感が高まっています。

北陸新幹線の開業で、首都圏から現在
の約2倍の方が福井に訪れ、経済波及効
果は309億円と見込まれています。福
井商工会議所はこのチャンスをがっちり
掴むため、福井県、福井市との三者で策
定した県都ブランドデザインをベース
に、まちのにぎわいを創り出す仕掛け作
りや観光誘客と消費拡大に向けたコンテ
ンツ作り等に鋭意取り組んでいます。
具体的には、蕎麦・地酒・酒の肴を一
緒に楽しめる店舗を認証する「越前おろ
しSOBAR(ソバル)プロジェクト」
は20店を数えます。また「美と福の歴史

見える化プロジェクト」では、お市の方
ゆかりの地として美をテーマとしたイベ
ントや美関連グッズ通販雑誌「ICHI
(イチ)」を発行し、美の聖地としてのプ
ランド化に取り組んでいる所です。「二
次交通エンタメ化プロジェクト」では、
福井駅周辺の観光スポットを巡る低速電
動カート「ふくとウク」の実証実験を行
い、まちなか周遊の新たなモビリティと
して運行の実現を目指しています。その
他、恐竜ブランドを活用した土産品開発
支援や体験型観光のメニュー発掘・発信
に取り組んできました。これらの新幹線
対策事業に対し、延べ500社を超える
会員企業の皆様が参画され、当所と一
体となって各プロジェクトにお取り組み
頂いていることに感謝申し上げますと共
に、引き続きご支援ご協力をお願い申し
上げます。

また、新幹線で首都圏や北信越との距
離が近くなり、経済活動がより活発化し
ます。これは他の地域から多様な知恵が
福井に流入する機会となり、県内産業の
技術や製品等と融合することで、新たな
ビジネスやイノベーションの創出に繋が

るものと期待しています。この知恵の交
流を促進するため、当所は新幹線沿線の
さいたま・高崎・長野の三商工会議所を
皮切りに、様々な地域との連携体制を構
築し、経済交流を進めていきます。

足下の経営環境は、コロナ禍からの社
会経済活動の回復が進む一方で、資源・
原材料価格の高騰や円安によるコスト負
担上昇と価格転嫁の遅れ、人手不足の中
での賃上げ要請の高まり、不安定な海外
情勢など、引き続き難しい局面にありま
す。これらの環境変化や消費者の行動変
容で生じた新たな価値観に対し、経済界
は事業変革に向けて一歩踏み出しチャレ
ンジすることが求められており、当所は
事業戦略策定、DXやGX、事業承継や
スタートアップ等のサポートに精一杯取
り組んでいきます。

北陸新幹線とポストコロナという社会
経済の大転換期において、福井商工会議
所として進取果敢な役割を担い、持続可
能な福井を目指して皆様と一緒に未来志
向のワクワクする事業活動に取り組みた
いと思いますので、2024年も引き続
きご支援ご協力をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



日本商工会議所

会 頭 小林 健

明けましておめでとうございます。
2024年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年の経済社会情勢は、内外ともに不透明さと緊迫の度が増した1年でありました。世界ではロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加え、中台間の緊張、イスラエルとパレスチナ武装勢力間の衝突も深刻化するなど地政学リスクが増大する1年となり、国内ではアフターコロナで緩やかに景気が回復するものの、1ドル150円前後の歴史的水準に達した円安や41年ぶりの上昇率を記録した消費者物価・エネルギー価格の高騰の影響、深刻さを増す人手不足など、依然として厳しい状況にあります。本年も、先行き不透明な状況が続くことは一定程度覚悟しなければなりません。

一方、コロナ禍を乗り越え、社会経済活動の正常化が加速したことで、設備投資意欲が顕在化し、約30年ぶりの高い賃上げが実現されるなど、時代の転換が萌芽しています。今こそ、デフレ経済からの完全脱却、成長と分配による経済好循環を実現していく絶好のチャンスにしな

くてはなりません。

政府におかれては、岸田内閣が掲げる「新しい資本主義」の成長戦略を確実にかつ速やかに実行に移すことで、生産性向上に裏付けされたモデルトナ物価上昇、構造的な賃金上昇を実現し、持続的な成長型経済への転換を果たしていくべきであります。短期的利益に拘泥することなく、中長期の安定的経済発展のための「攻めの経済」、すなわち成長基盤の強化に寄与する政策に国家資源を集中し、官民一体となって、グローバル競争を勝ち抜く足腰の強化を図ることが重要だと考えます。昨年の総合経済対策では、中小企業のチャレンジを支援する方針が明確に示され、エネルギー高騰や物価高対策に加えて、潜在成長率の底上げに資する対策も多く打ち出されました。あとは実行あるのみです。

当然のことながら、われわれ民間も政府に環境整備を求めるだけでなく、「停滞」から「成長」へとマインドを切り替えるとともに、時代の大きな変化を的確に捉え、自己変革に挑戦していかなければなりません。創意工夫に知恵を絞り、

絶えざるイノベーションや事業の再生、再構築にまい進し、人や設備への投資を活性化させることが、経済全体としての新たな雇用の拡大、賃金増、さらなる需要増といった好循環を産み出すことにもつながります。また、原材料や光熱費、労務費などの原価を吸収し、適正な利益を確保するためには、「取引価格の適正化」が不可欠であります。引き続き、「パートナーシップ構築宣言」の実効性向上に向け、価格協議・価格転嫁が商習慣として定着するよう、われわれとしても粘り強く取り組んでまいります。

われわれ商工会議所の最大の強みは、全国515商工会議所125万会員のネットワークであり、中小企業が直面する課題が複雑化する中、このネットワーク力を最大限に生かした行動が必要です。本年も「地域とともに、未来を創る」理念のもと、地域経済が再び成長と分配の好循環や豊かさを実感できるように、515商工会議所の総力を結集してまいりますと存じます。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。